

# 第 2 回 (2013.06.16)

## いるま環境フェア 報告書

「いるま」から発信！わたしが取り組む環境のカタチ



平成 25 年 7 月

いるま環境フェア実行委員会



## 第2回いるま環境フェアを終えて

この報告書は平成25年6月16日に開催した第2回いるま環境フェアについてその概要をお伝えするものです。

当日はあいにくの雨模様の天気でした。それでも前回は上回る3,500人もの来場者を迎えることができました。市民・団体・事業者・行政の協働で、成功裏のうちに終了できたことは大きな収穫です。ご支援ご協力をいただきました各位に心から感謝とお礼を申し上げます。

展示ブースでは40団体あまりの出展がありました。なかでも、資源循環を象徴する都市鉱山からの金・銀の展示には大人から子供まで多くの人が集まりました。外庭で行われたエコカーの展示と試乗にも人気が集まりました。ホールで開催した「環境フォーラム in いるま」では、伊藤雅道駿河台大学教授の基調講演の後、人と自然とのかかわりをテーマにパネルディスカッションを行いました。パネリストに入間市内で熱心に環境活動に取り組んでいる市民と田中龍夫市長を迎え、加治丘陵や霞川、狭山茶など身近な入間の自然について語っていただきました。

そのほか、前夜祭での環境活動報告会、大束晋・わたなべよし美さんによるパンフルートの夕べ、当日の福島市民の皆さんによる福島3.11体験談と本田知美さんの美しく感動的な歌、エコ模擬店など、盛りだくさんのイベントを用意しました。市民の皆様には環境について楽しく学ぶことができたのではないかと自負しております。

入間市の財産である、加治丘陵・狭山丘陵・入間川・霞川・不老川などの自然環境や歴史と文化を守るとともに、私たちをとりまく様々な環境問題に対処して、自分たちのまちを住みよい環境にしていくことが、持続可能な社会づくりに繋がることと考えて、今後も環境フェアを継続していきたいと思っています。

今後とも皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

平成25年7月

第2回いるま環境フェア

実行委員長

石本 勝彦



# 第2回 いるま環境フェア

「いるま」から発信!! 私に取り組む環境のカタチ

## 6月16日(日)

午前10時～午後4時

【会場】入間市産業文化センター

**入場無料**

6月15日出 ○環境活動報告会 ○前夜祭コンサート

● **オープニング・セレモニー**

10:00～10:30 東野高等学校吹奏楽部

● **環境フォーラムinいるま**

10:50～12:30 ~人と自然とのかかわり~

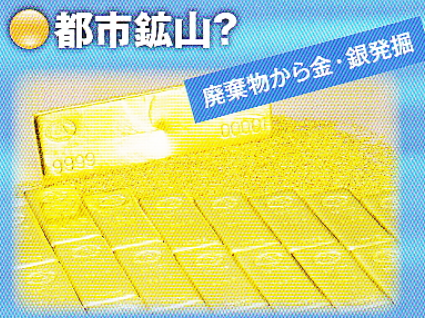
● **福島3.11その時わたしは**

体験談とコンサート 13:45～15:25

● **エコカー集結!**



● **都市鉱山?**



● **環境に関する活動発表・展示**

● **体験コーナー**

● **エコ模擬店各種**

● **環境川柳展示・表彰**

**主催** いるま環境フェア実行委員会、入間市環境まちづくり会議、入間市

●協力/NPO法人まちづくりサポートネット元気な入間

●協賛/入間市工業会、入間市商工会、入間ロータリークラブ、入間南ロータリークラブ、入間ライオンズクラブ、入間青年会議所、日産プリンス埼玉販売㈱、㈱ホンダカーズ埼玉西、埼玉トヨペット㈱、埼玉ダイハツ販売㈱、㈱エヌ・ティ・ティ・クオリス、㈱武蔵臨床検査所、丸大観光㈱、入間ガス㈱、吉澤建設㈱、司産業㈱、㈱宮崎土建工業所、㈱小松屋、天覧山一燈仏子寺、サロンド・KEIKO、㈱いわさぎ、㈱KAKUI.CO、JAいるま野、いるま幼稚園、大和ハウス工業㈱、生活協同組合コープみらい、澤田医院、㈱杉山子エン製作所、㈱住協、土屋興業㈱、㈱東リース、㈱安川電機、木の家づくりを応援する木住研、結婚式場Pleats.l、㈱ユース、㈱ススキガス ウォーターネット事業部



「いるま」から発信!! 私に取り組む環境のカタチ

# 第2回 いるま環境フェア

## イベント紹介

### オープニング・セレモニー

- 時間 / 10:00~10:30
- 場所 / 1階ホール
- アトラクション  
東野高等学校吹奏楽部



### パネル展示

自然環境やゴミ、リサイクル、省エネなどに  
取り組む市民、事業者、民間団体、行政に  
よる展示

- 場所 / 2階第2集会室ほか



### エコ模擬店

焼きそば、カレーライス、トルコ料理など



### エコカー展示・試乗会

ホンダ、日産、ダイハツ

### 体験コーナー

発電自転車、アクセサリづくりなど  
○場所 / 1階集会室(和室)

### 都市鉱山?

廃棄物から金・銀を取り出し延べ棒にした  
金・銀の展示

### 環境川柳展示・表彰

募集した作品の展示

### 環境フォーラム in いるま ~人と自然とのかかわり~

- 時間 / 10:50~12:30 (基調講演) 伊藤 雅道氏 (駿河台大学教授)
- 場所 / 1階ホール

コーディネーター 伊藤雅道氏(駿河台大学教授)

パネリスト  
田中龍夫氏(入間市長)  
山畑 博氏(NPO法人加治丘陵山管理グループ理事長)  
増岡伸一氏(増岡園園主)  
吉田俊彦氏(NPO法人パープレスフック普及協会代表理事)

### 福島3.11 その時わたしは

体験談とコンサート

- 時間 / 13:45~15:25
- 場所 / 1階ホール

うた  
本田 知美さん

お話し  
梅宮 勇造氏(福島乳業社長)  
関 奈美子氏(主婦)

### 前夜祭コンサート

~癒しのパンフルートの夕べ~

- 時間 / 6月15日 18:00より
- 場所 / 1階ホール

【演奏】

大東 晋氏  
わたなべよし美氏

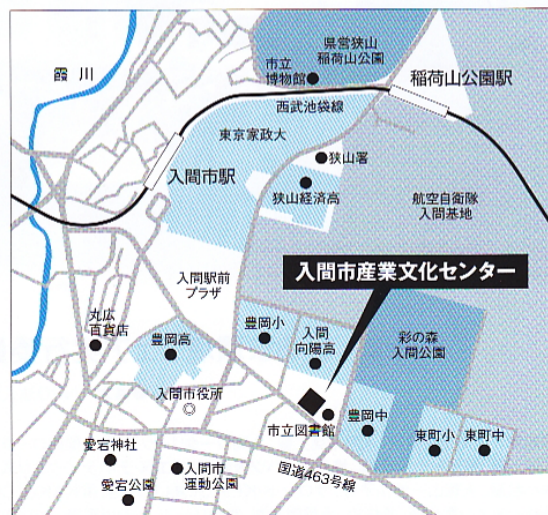


### ●出展・参加団体一覧●

宮寺二本木地区ふるさと元気アップ事業実行委員会、(株)ホンダカーズ埼玉西、こどもを守る会いるま、日産プリンス埼玉販売(株)、ブラジレイラ、いこいこクラブ、NPO法人加治丘陵山管理グループ、工房横山、ミニ水族館カフェ、ななまるくりん、入間おやこ劇場、入間ガス(株)、入間ガスサービス(株)、サンケパブ、入間市おもちゃ病院、ドライカレーの会、いるまねこの会、埼玉ダイハツ販売(株)、金子おやじの会、木の家づくりを応援する木住研、入間市の文化遺産をいかす会、カタクリ自生地隣接地を守り育てる会、(財)さいたま緑のトラスト入間支部、駿河台大学、入間市博物館ボランティア会、カネパッケージ(株)、(社)埼玉県建築士事務所協会いるま西支部、NPO荒川流域ネットワーク、コンセプトデスク、生活協同組合コープみらい、(財)埼玉県生態系保護協会入間支部、吉岡製油(株)、霞川をきれいにする会、さいたま緑の森博物館、松田産業(株)、森林浴の会、KEKキャラバン、いるまお茶バラ イルマージュ、入間から発信!ずっと暮し続けるために動く会、(株)スズキガス ウォーターネット事業部、(株)コース、大和ハウス工業(株)、大森の池まつり実行委員会、マングローブ、生活クラブ生協入間支部、加治丘陵をみまもる会、印度亭、入間市環境まちづくり会議、入間市環境アドバイザー、入間市 ほか

### 【お問い合わせ】

いるま環境フェア実行委員会事務局(入間市環境課)  
TEL.04-2964-1111(内3221)





平成 25 年 4 月 23 日

所沢記者クラブ加盟記者各位

いるま環境フェア実行委員会  
委員長 石本 勝彦

市民、事業者、民間団体及び市との協働による

## 「第 2 回いるま環境フェア」を開催

～「いるま」から発信!! 私が入り組む環境のカタチ～

と き： 平成 25 年 6 月 16 日(日曜日)、午前 10 時から午後 4 時

と ころ： 入間市産業文化センター

(入間市向陽台 1-1-7 電話：04-2964-8377)

いるま環境フェア実行委員会(事務局：入間市環境経済部環境課)は、昨年開催し約 3,000 人の来場者を集めて大好評だった「いるま環境フェア」(入場無料)を今年も実施します。

このフェアは、日頃の環境への取り組みの様子や成果の発表、環境フォーラムやエコカーの展示試乗、子供も大人も楽しめる環境体験コーナーなどを通して、多くの方に環境への関心を高めてもらうことを目的に開催します。

### 【パネル展示】

市内外の個人や事業者、民間団体、市役所、市内の小・中学校や近隣大学の環境問題への取り組みや成果を発表します。

### 【環境フォーラム in いるま】

産業文化センターのホール(400人収容)では、駿河台大学教授の伊藤雅道氏による基調講演、パネラーに入間市長や地元で環境保護活動を行っている方々を招いて「人と自然とのかかわり」について討論を行います。

### 【福島 3.11 その時わたしは(体験談とコンサート)】

東日本大震災による原子力発電所の事故で、地元福島の実情はどうだったのか。報道では伝わらない生の声を、福島乳業社長の梅宮勇造氏や市民をお招きしてお話を伺います。

### 【都市鉱山?】

入間市内の工場で精錬された金・銀の延べ棒を展示します。これは廃棄物から貴金属を取り出し再生する技術で、「都市鉱山」とも呼ばれています。

### 【体験・ゲームコーナーなど】

プラスチックを利用したストラップ作りや、自転車で電気を発生させるなど遊びながら理解できる「体験・ゲームコーナー」、景品が当たる「スタンプラリー」にも参加できます。また、事前に募集した「環境川柳」の優秀作品表彰や作品展示も行います。

#### ■問い合わせ先■

いるま環境フェア実行委員会事務局(入間市役所環境経済部環境課 総務担当)

電話：04-2964-1111(内線 3221・3226)

電子メール：ir210100@city.iruma.lg.jp



<PR と新聞記事>



5月2日茶まつりでのPR(チラシ1000枚)



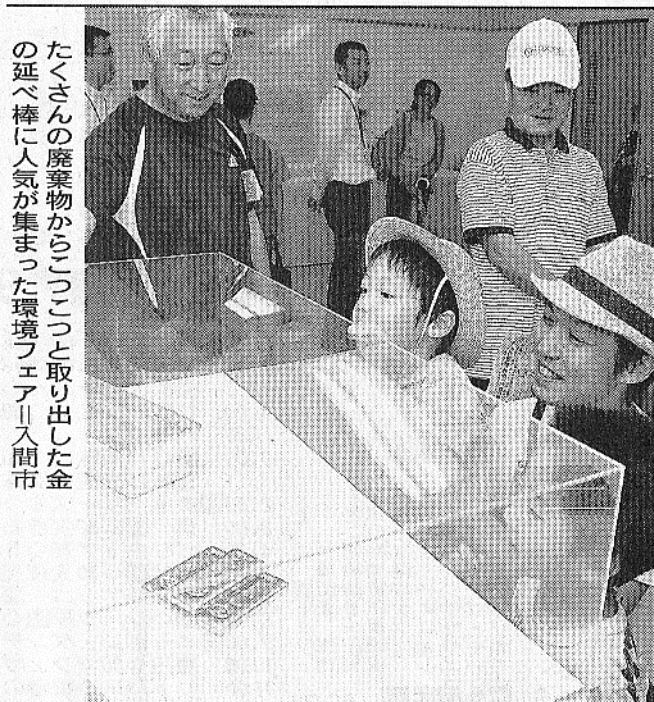
5月3日新茶まつりでのPR(チラシ1000枚)



5月30日入間ケーブルテレビでのPR取材

●第2回いるま環境  
フェア 16日10時16  
時、入間市産業文化セ  
ンター。環境フォーラ  
ムや各団体の省エネ活  
動のパネル展示、廃棄  
物から取り出した金、  
銀の延べ棒の展示、エ  
コカーの展示、体験試  
乗会など。☎04・29  
64・1111実行委  
事務局。

2013.06.14 毎日新聞イベント欄に掲載



たくさんの廃棄物からごっこつと取り出した金  
の延べ棒に人気が集まった環境フェア入間市

ごみから金取れたよ 入間の環境フェア

入間市向陽台1丁目の市産業文化センタ  
ーで、市民や自治体、企業などが環境問題を  
どもに考えるイベント「第2回いるま環境  
フェア」(同実行委、市など主催)があった。  
16日開催で約3500人が来場した。会  
場には景観の保護や保全活動に取り組み団  
体やサークルの活動報告のパネルや電気自  
動車(EV)を展示。人力による発電体験  
や、廃棄物から取り出した金や銀を集めて  
延べ棒にして掲示したユニークなコーナー  
もあった。  
また、東日本大震災復興支援のため、福  
島県出身のシンガー・ソングライターの本  
田知美さんがミニコンサート。「福島3・  
11 その時わたしは」と題した被災者の体  
験報告も開かれ、来場者が耳を傾けた。

2013.06.20 朝日新聞埼玉版に掲載



# 環境保護 地域で考えよう

市民や企業などが環境問題について発表や意見交換を行う「いるま環境フェア」が十六日、入間市向陽台一の市産業文化センターで開かれ、大勢の来場者でにぎわった。

モノのリサイクルに取り組む市民グループが、ごみ減量やリサイクルをテーマにした活動の様子をパネルで張り出し、自然保護活動に力を入れているグループが、学校や職場で環境保護活動に取り組む人たちのパネル展示が行われた。参加者からは

## 入間でパネル展示や意見交換



「入間市と姉妹都市の新潟県佐渡市はトキをシンボルに環境保護に取り組んでいる。入間もシンボルを作り活動を活性化すべきだ」などの意見が出ていた。  
(上田融)

## 原発事故から避難の体験談も

きょう入間で環境フェア

入間市は16日午前10時から午後4時まで、市民に環境問題への関心を高めてもらうために「第2回いるま環境フェア」を同市産業文化センターで開く。

環境フォーラムでは、駿河台大の伊藤雅道教授の基調講演、田中龍夫市長や地元環境保護活動家による「人と自然のかかわり」と題した討論や「福島3・11その時わたしは」では福島復興に力を尽くす福島県民と

福島第一原発事故により住まいを追われた双葉町民を招いての体験談を聞く。障害を乗り越えて「うた」で復興の応援をする本田知美さんも歌を披露する。また、同市内の工場で精錬された金銀の延べ棒も展示。これは廃棄物から貴金属を取り出し、再生する技術で、「都市鉱

山」とも呼ばれることをアピールする。さらに電気自動車など環境に配慮した物品の展示、発電体験など子どもから大人まで楽しみながら環境意識を育むフェアとなっている。(広川一六)



＜開催状況写真(1)＞



オープニングセレモニー／石本勝彦実行委員長・田中龍夫市長のあいさつ・東野高等学校吹奏楽部の演奏



環境フォーラム in いるま・伊藤雅道駿河台大学教授の基調講演とパネルディスカッション



福島 3.11 その時わたしは・被災した福島市民の皆さんの体験談



踊りや歌で盛り上げてくれたみなさん／入間お茶パライルマージョ・本田知美・中西久美子さん







<開催状況写真(3)>





<開催状況写真(4)>





## ＜事業概要＞

### ■タイトル

第2回いるま環境フェア：「いるま」から発信!! 私が取り組む環境のカタチ

### ■開催趣旨

多くの市民に環境への関心を高めてもらうことを目的に、市民、事業者、民間団体及び市の環境への取り組みを紹介し、次の世代を含めた市民が快適に暮らすことができる持続可能な社会をめざす

### ■開催日時・場所等

平成25年6月16日（日）午前10時～午後4時 <開場 午前9時30分>  
入間市産業文化センター（ホール、第1集会室、第2集会室、学習室、小研修室）  
入場無料・事前申し込みの必要はなし

### ■出展者

市民、事業者、民間団体及び市役所担当課等 56 団体

### ■主催・後援等

<主催>いるま環境フェア実行委員会・入間市環境まちづくり会議・入間市

<協力>NPO法人まちづくりサポートネット元気な入間

<協賛>市内企業・団体等

### ■プログラム構成

- |   |                 |
|---|-----------------|
| (1)開場   | 9 : 30          |
| (2)オープニング・セレモニー（1F ホール）<br>・東野高校吹奏楽部                              | 10 : 00～10 : 35 |
| (3)環境講演会（1F ホール）  |                 |
| ①環境フォーラム in いるま（パネルディスカッション）<br>「環境フォーラム in いるま ～人と自然とのかかわり～」     | 10 : 50～12 : 30 |
| ②「福島3.11 その時わたしは」（1F ホール）   | 14 : 00～15 : 45 |
| (4)各種オリジナルイベント  |                 |
| (5)体験コーナー   |                 |
| (6)環境アドバイザー   |                 |
| (7)環境フェア出展団体展示<br>（中庭・1F 第1集会室(和室)・2F ロビー・2F 学習室・2F 第2集会室・3F 研修室） | 10 : 40～16 : 00 |
| (8)模擬店  | 10 : 40～16 : 00 |

■入場者数 約3,500人

### ■前夜祭

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| (1)環境活動発表会(1F ホール)      | 14 : 00～16 : 00 |
| (2)癒しのパンフルートの夕べ(1F ホール) | 18 : 00～19 : 30 |





## ■前夜祭の概要

### (1) 環境活動発表会 (1F ホール)

司会進行 入間環境フェア実行委員(木内 勝司)

#### ① NPO 法人加治丘陵山林管理グループ(大山 博)

入間市の山林が荒れているのをみて何とかしようと思い、仲間を集めて山林管理の市民団体をつくった。現在は多くの仲間が増えて、入間市でもトップクラスの会員数。「無理せず、あせらず、ゆっくりと」をモットーに、遊歩道づくりや丸太階段づくり、子供たちへ提供するカブト虫の養殖などを行っているほか、入間市の加治丘陵の山林管理について市からの委託を受けて、加治丘陵の広い面積を対象に山林管理を実施している。会員の高齢化が悩みで、新たな人材を募集している。



#### ② ぶっし里山会(中村 巖)

加治丘陵にかかわる 14 団体のうちのひとつとして、下草刈りなどの山林管理と遊歩道整備の活動をして、現在 4 年目。「加治丘陵さとやま計画」をきっかけとして、14 番目の加治丘陵山林ボランティア団体として発足した。会員は、上広瀬地域の人を中心だが、新久の人や所沢市の仲間を含め 12 名。植生管理の専門家の講演会や植生管理計画等の講習会、加治丘陵山林ボランティア団体の意見交換会、交流会などを実施している。



#### ③ NPO 法人荒川流域ネットワーク(鈴木 勝行)

埼玉県内の荒川流域を対象として活動している。1995 年に「清流よ、蘇れ！」をキャッチフレーズに流域各地域で多様な活動をする団体の連携を目的として設立。2002 年 4 月に NPO 法人化。毎年荒川流域の一斉水質調査、荒川クリーンエイド(河川敷のごみ清掃)、流域再生シンポジウムを実施している。ここ 5 年ほど前から、アユの遡上調査を実施しており、入間川・越辺川・都幾川などについて標識アユの放流と捕獲調査を行った結果、入間川では、今後 5 年間かけて埼玉県により魚道整備が行われるきっかけとなった。県による川のまるごと再生事業などにも、委員として参加している。

#### ④ 木の家づくりを応援する木住研(宮越 喜彦)

木の家づくりは都市に森を再生するのと同等のことだと考えて、大工、左官など職人たちの技をいかした伝統構法による木組み、土壁や板壁など自然素材による「木の家」づくりを応援している。彩の国木の家づくり巡回展、歴史的な建造物を勉強する太平建築塾、入間市内の歴史的建造物についての [企画展] ヴォーリズと武蔵豊岡教会展 in 入間丸広百貨店 & [まち歩き] こけーら散歩など、様々なイベント活動も行っている。

#### ④ 入間ガス(株)・入間ガスサービス(株)(清水 浩)

入間ガス(株)は、昭和 47 年 (1972 年) に設立され、社員数 45 名で、都市ガス供給・販売、ガス機器販売及びこれに関する建設事業、その他付帯する事業を行っている。お客様へのガス機器全般販売・施工・修理・リフォームは、入間ガスグループの入間ガスサービス(株)が行っている。平成 15 年に環境にやさしい天然ガス供給を開始し、平成 20 年にはガス供給数 16,000 戸を上回った。現在、自然エネルギーを一般住宅に供給する太陽光パネル事業にも進出している。小学校へのエコクッキング出張事業、入間市防災訓練、環境まちづくり会議運営委員への参加など、地域貢献活動に力を入れている。



## (2) 癒しのパンフルートの夕べ(1F ホール)

司会進行 入間環境フェア実行委員(川名 千鶴子)

パンフルート 大東 晋

東京都在住、パンフルートコンサート、リサイタルやゲスト演奏者として活躍。  
各国大使館での演奏会多数。

ピアノ わたなべ よし美

飯能市在住、コンサートや独自の演奏活動を続けるかたわら、入間市でも活躍。  
今回は環境フェアに賛同しての演奏。

プログラム

精霊の踊り グルック  
美しい夢見るようなメロディーの名曲  
五色ひわ ビバルディ  
有名な「四季」の作曲者ビバルディーの作品  
森のダンス ザンフィル  
ホラ・スタッカート

ピアノ・ソロ演奏

竹田の子守唄～てんさぐの花  
チゴイネルワイゼン サラサーテ  
ヴァイオリンの名曲を朴フルートで演奏  
Sad Romance, Come Back シルバイン・ギネ  
フランスの作曲家の美しい2曲



<演奏会を終えて>





## ■当日 ホールイベント 概要報告

### (1) 環境講演会

#### 環境フォーラム in いるま

テーマ「人と自然とのかかわり」

#### 〈開催趣旨〉

今回のフォーラムは、奥山の自然ではなく、加治丘陵、狭山丘陵、入間川、霞川など入間市の代表される身近な自然、地域住民の共有の上に成り立ってきた里山とその周辺の里地という観点から、入間市の人と自然とのかかわりを見ていきたい。また、住民の生活の場から木材生産の場へ、そして、経済成長により価値の乏しい貧弱な林となった今、川もコンクリート護岸により、自然がなくなり排水溝のような人工河川となり、人と川との関係が薄れてしまった。

このような現状を、農山村地域の里地里山の見直しと、人々の癒しの場の休養林として、また、身近な自然と生物多様な親しみある川として保全していけるのか、今後どのように私達は入間市の自然とかがわっていけるのかを見つけていきたい。

#### ① 基調講演

伊藤 雅道 氏（駿河台大学教授）

#### ② パネルディスカッション

コーディネーター 伊藤 雅道 氏

パネリスト

田中 龍夫 氏（入間市長）

山畑 博 氏（NPO 法人加治丘陵山林管理  
グループ理事長）

増岡 伸一 氏（増岡園園主）

吉田 俊彦 氏（NPO 法人バーブレスフック  
普及協会代表理事）





## (2) 福島 3.11 その時わたしは

### <開催趣旨>

東日本大震災の後、原発の問題はいまだ解決の出口も見えない。今回の「いるま環境フェア」に、福島県民のみなさんをお招きして、実際の体験談や現在の状況を聴いた。報道では分からない被災当時の話に、来場者の皆さんは何を感じただろうか。

### <体験談抜粋>

梅宮勇造氏（福島市在住、福島乳業代表取締役）

地震が起こった時、車の運転をして橋を渡っていた。ともかく橋を渡りきって行くと、道の両側が崩れていた。震災後、裏庭の大切な大きな木を放射能のため切り倒さなければならなかった。その後、NPO法人「負けないぞ、ふくしま！宣言」プロジェクトを立ち上げ、原発の問題や福島の復興のために働いている。

本田知美さん（福島市在住、歌手）

障害があるため、当時も作業所でリサイクルの作業をしていた。あまりにも揺れたために、腰がぬけてしまい動けなくなってしまった。とても怖かった。今は元気になり福島で、得意の歌で支援ボランティアをやっている。

本田知美さんのお母さん

知美は障害があるため、地震の後が大変だった。しかし、その後、行政などからの助けは、障害者にはなかったのが残念。忘れられてしまったのでしょうか。

関奈美子さん（福島県双葉町、主婦）

双葉町の広い家で家庭菜園をしながら暮らしていた。その日は、外出していたがその時に持っていた手提げ一つで避難した。津波は家の手前で止まっていたが、もう我が家に帰ることはできない。今日は、避難後始めて買った服を着てきました。服を買えた時は嬉しかったです。現在は埼玉県加須市で避難生活をしているが、主人、子供で一家がバラバラに生活している。

川名千鶴子（入間市民、コーディネーター）

関さんは、現在、オーケストラの一員となって私たちと一緒に、被災地での支援コンサート活動をしている。被災地の復興には、私たちのような市民が被災地に心を寄せていくことも大切な支援だと実感している。何ができるのか、これからもみんなで真剣に考えていきたい。





## <出展参加団体・協賛団体・実行委員会>

### 出展団体

いこいこクラブ  
癒しの会  
いるま・お茶パラ・イルマージョ  
入間ガス(株)・入間ガスサービス(株)  
入間から発信!ずっと暮らし続けるために動く会  
入間市おもちゃ病院  
入間市環境まちづくり会議地球温暖化防止部会  
入間市環境まちづくり会議みんなのごみ部会  
入間市の文化遺産をいかす会  
入間市博物館ボランティア会  
いるまねこの会  
NPO 法人荒川流域ネットワーク  
NPO法人加治丘陵山林管理グループ  
大森の池まつり実行委員会  
加治丘陵を見守る会  
霞川をきれいにする会  
カタクリ自生地隣接地を守り育てる会  
／ホテルの生息する里山づくりの会  
カネパッケージ(株)  
木の家づくりを応援する木住研  
高エネルギー加速器研究機構(KEK)  
工房横山  
こどもを守る会 いるま  
コンセプトデスク  
(社)埼玉県建築士事務所協会 いるま西支部  
(財)埼玉県生態系保護協会 入間支部  
さいたま緑の森の博物館  
(財)さいたま緑のトラスト入間支部  
(株)スズキガス ウォーターネット事業部  
駿河台大学  
生活協同組合コープみらい  
生活クラブ生協 入間支部  
大和ハウス工業(株)  
不老川をきれいにする会  
松田産業(株)  
マングローブ  
ミニ水族館カフェ  
(株)ユース  
吉岡製油(有)  
埼玉ダイハツ販売(株)  
日産プリンス埼玉販売(株)  
(株)ホンダカーズ 埼玉西  
入間おやこ劇場  
印度亭  
金子おやじの会有志  
サンケバブ  
ドライカレーの会  
ななまるくりん  
ブラジレイラ  
宮寺二本木地区ふるさと元気アップ事業実行委員会  
入間市(図書館・環境課・学校給食課・学校教育課・  
商工課/入間市工業会・入間市総合クリーンセンタ  
ー・リサイクルプラザ)

### 協賛団体

入間市工業会、入間市商工会、入間ロータリークラ  
ブ、入間南ロータリークラブ、入間ライオンズクラブ、  
入間青年会議所、日産プリンス埼玉販売(株)、(株)  
ホンダカーズ埼玉西、埼玉トヨペット(株)、埼玉ダイ  
ハツ販売(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・クオリス、(株)武  
蔵臨床検査所、丸大観光(株)、入間ガス(株)、吉  
澤建設(株)、司産業(株)、(株)宮崎土建工業所、  
(株)小松屋、天覧山一燈仏子寺、サロン・ド・KEIK  
O、(株)いわさき、(有)KAKUI.CO、JAいるま野、  
いるま幼稚園、大和ハウス工業(株)、生活協同組  
合コープみらい、澤田医院、(株)杉山チエン製作  
所、(株)住協、土屋興業(株)、(株)東リース、(株)安  
川電機、木の家づくりを応援する木住研、結婚式場  
Pleats.I、(株)ユース、(株)スズキガスウォーターネッ  
ト事業部

### 実行委員会

#### 実行委員

石本 勝彦(入間市環境まちづくり会議)  
木内 勝司(〃)  
二ノ宮 小百合(〃)  
新井 格(〃)  
田中 祥弘(〃)  
劔持 和夫(〃)  
平田 和雄(環境ネットワーク市民の会)  
永井 健一(入間市商工会)  
多田 外志(生涯学習をすすめる市民の会)  
山西 素直(NPO法人加治丘陵山林管理グループ)  
幸森 康夫(NPO 法人まちづくりサポートネット元気な入間)  
宇野 藍子(〃)  
川名 千鶴子(入間市環境アドバイザー)  
宮越 喜彦(木の家づくりを応援する木住研)  
横山 駿(工房横山)  
林 純子(いるまお茶パライルマージョ)  
花房 みさ子(生活クラブ生協入間支部)  
柴田 靖子(ななまるくりん)  
清水 英弥(検査課)

#### 会場準備・運営スタッフ

村田 一男(市民)、山畑 忠・浅川 英雄・吉野 敬  
司・杉本 有美・新里 耕・宮本 直樹(環境課)、浅  
見 泰志(企画課)、大石 浩士・森田 有香子・石丸  
文佳・佐々木 小百合(市民税課)、高橋 慶多(収税  
課)、長谷川 功(農政課)、榎本 覚(市民課)、横田  
ひろみ(保険年金課)、関谷佳代子(自治文化課)、萩  
原 雄一(高齢者福祉課)、仁礼 隆司(教育総務  
課)、新屋 裕美(東金子公民館)

#### 写真撮影協力

・今井 誠喜((財)入間市振興公社)

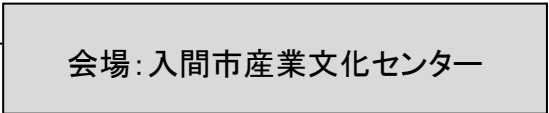
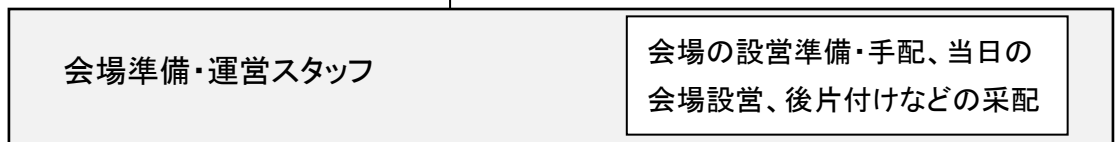
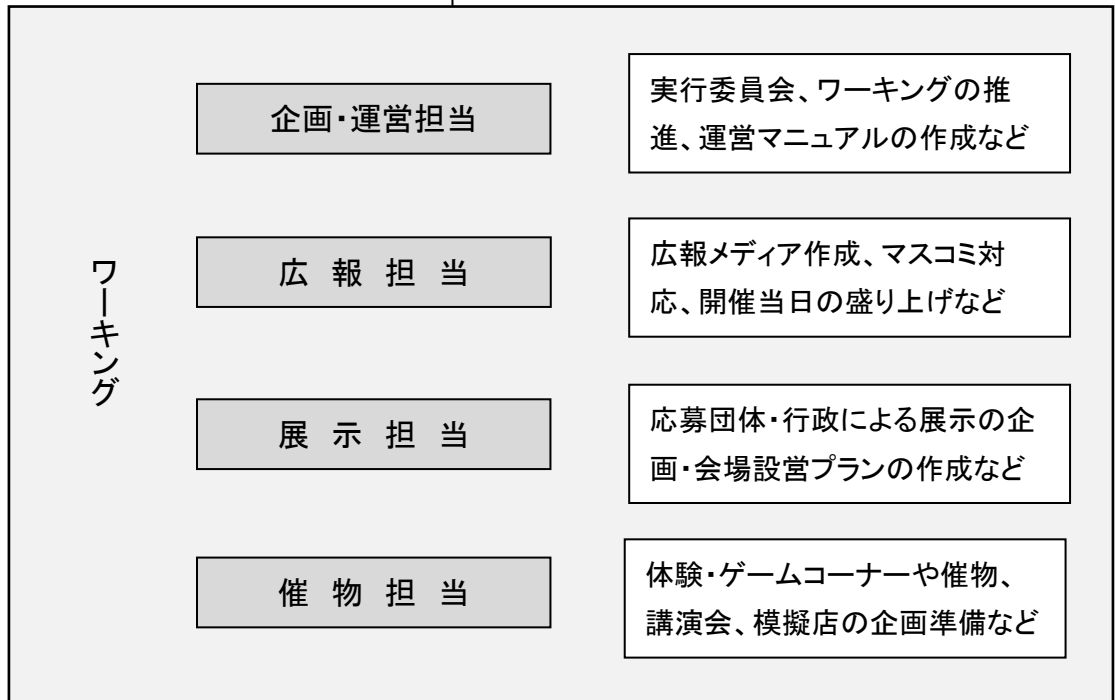
#### 事務局(環境課)

齋木 茂男・横田 耕一・竹廣 由美・小林 省太



＜実施運営体制＞

いるま環境フェア実行委員会





## 第 2 回いるま環境フェア報告書

編集・発行 いるま環境フェア実行委員会

発 行 平成 25 年 7 月

問い合わせ いるま環境フェア実行委員会事務局(入間市環境課内)  
〒358-8511 埼玉県入間市豊岡 1-16-1  
TEL 04-2964-1111(内線 3221・3226) FAX 04-2965-0232  
E-mail : ir210100@city.iruma.lg.jp